

古賀市議会 2022年第3回定例会（9月）

最終日本会議における討論

2022年9月26日

古賀市議会議員 奴間健司

（1）第48号議案 件名 令和4年度古賀市一般会計補正予算（第2号）について

第48号議案・令和4年度古賀市一般会計補正予算（第2号）について、賛成の立場で討論します。

今回の補正予算の総額は21億350万2,000円ですが、歳入では繰越額20億1210万3,000円の額確定、歳出では基金積立金18億6,605万3,000円が大きな比重を占めています。

また、コロナ禍や物価高騰に対する市民生活支援として就学援助資金の対象拡大など8件の市独自事業が盛り込まれました。

9月1日に大綱質疑、7日には特別委員会での詳細質疑を行いました。その結果以下の理由で原案に賛成します。

第1の理由は、今回の補正の89%程度を占めるものが基金積立金であり、それは繰越額の確定に伴うものであることです。この時期の会計処理として当然必要な補正です。

第2の理由は、古賀市に割当てられた新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について市民の生活支援にシフトを移したという点です。古賀市の割当額は4億3777万6千円ですが、6月補正では運輸事業者やタクシー業者等への支援として2億6548万円を計上しました。全体の61%です。

今回は生活支援として1億4241万円を計上、交付金割当額の32%になります。個々の支援策については気になるところもありますが、大きな方向性として市民生活に直接響く対策に移行したと言えます。

第3の理由は、具体策の中で、就学援助資金について対象を拡大したことです。2022年度限りではありますが、生活保護基準額の1.3倍以内としていたものを1.5倍以内まで拡大しました。小中学生合わせて2195万円の増加となります。一時的バラマキではなく継続的な経済支援になります。来年3月末時点で、物価や給与の状況を判断し、更なる継続も選択肢であると考えます。

具体策の中で、LINE公式アカウント開設は情報発信やオンライン手続きにとって利便性が拡充されると期待されます。

65歳以上高齢者へのコメ2キロとゴミ袋10枚については効果検証を行う

ことを求めます。

移住体験促進事業委託料973万5千円、コスモス館レストラン支援500万円については今後の取組を注視したいと思います。

指摘事項を述べます。

**指摘事項の第一は検討・決定過程**です。

今回の補正予算に至る経過の特徴として、市長が6月定例会終了後から庁議の場で4回にわたって生活支援策の検討を求めてきたことです。その検討の在り方ですが、どこが担当するのか、市全体での検討の場はあったのか、最後は三役会で決定となっているが庁議でなぜ議論しないのか。マネジメント上課題があると感じます。改善が必要であると指摘しておきます。

**指摘事項の第二は補正予算の説明資料**です。補正予算の必要性、特徴、財源についてある自治体（茨城県取手市）の事例を特別委員会で紹介しましたが、今後改善されるよう求めます。

**指摘事項の第三は、さらなる消費者物価高騰と生活支援**です。

総務省が9月20日に発表しましたが、8月、30年11か月ぶりに消費者物価が2.8%上がったことがわかりました。10月には3%台に乗るという見方もあります。

一方賃上げの動きは鈍く、厚労省によると物価上昇を加味した実質賃金では4か月連続のマイナスに沈んでいます。

6月補正の結果も検証し、事業者、市民生活支援の更なる拡充を図る必要があることを指摘しておきます。国の交付金を活用する計画ですが実施率はどうなっているのかも気になります。

**効果的で、確実に事業者、市民に届く補正予算を早急に検討すること**を求めます。

以上、賛成討論とします。